

町内会・自治会等ヒアリング（1回目）
地域の資源・課題編 結果概要
飯岡・湯沢地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】をご覧ください、平成21年度の見直し時から約10年が経過したことを踏まえ、記載されている内容について、この約10年間で感じる地域の課題や変化、意見等についてお聞きしました。

①『地域の好きなおところ』について

- 盛岡市中心部に出かけるにちょうどよい。マイカーで15分くらい。
- 地域内に交番があり犯罪、交通事故等が少ない感じがする。
- 自然と農村が点在しており暮らしやすい地域と思っております。
- 市内中心部、商業施設等に時間はそれほどかからない。

②『地域の課題』について

- 一人世帯が少し増えてきている。
- 空き家も出てきている。
- 高齢化の進行、地域内への流入人口が見込めないなかでの人口減少に伴い、地域コミュニティの維持はもとより地域そのものの存続に危機感を持っている（限界集落をイメージ）。
- 少子高齢化であり、コロナで地域のつながりにつなぐ行事（新年会、集落の成人式、お祭り、勤労感謝の集い）など地域住民との付き合いが薄れてきている。

③『地域の資源・課題マップ』について

- 盛岡南公園のサッカー場の隣に野球場が建設されており、近くには盛岡市場もあり周辺道路等の車の通行量が多くなり事故等がなければと心配であります。周辺道路の拡幅などお願いしたい。

④その他

- バスの便が少ない（特に日中）。
- マイカーがないと生活に不便である。
- 私どもの地域は主に農家が多く10年前とほとんど変わらなく、地域住民の高齢化が進んでいます。なんとか元気な集落にしたいのですがなかなか難しいです。

「問2」については、まちづくり全般に関する意見についてお聞きしました。

- 数年後に県立盛岡工業高校がなくなる。跡地の活用がどうなるか不安と期待で半々である。
- 今後10年で農業就業人口は7割以上減少し耕作放棄地も大幅に増加。あわせて人口減少に伴う集落の機能停止も想定される。よって、農村地域への人口増加策（一定の条件のもと宅地化促進など）を講ずるべき。住む人がいなくなれば「まちづくり」そのものの計画も意味合いが薄れる。
- 農業と商業地域が共生できる調和のとれた地域にできればと思います。

町内会・自治会等ヒアリング（2回目）
まちづくりの方向性と基本方針編 結果概要
飯岡・湯沢地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、添付した地域の現状データや、1回目のヒアリングの結果概要及び各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】を確認いただき、各項目への追加、修正点や今後の地域のまちづくりに関する意見等についてお聞きしました。

①『まちづくりの方向性』について

- 自然豊かな農村地域ですが住宅地をもっと確保しつつ農業との共存共栄をつくれたらいいと思う。

②『まちづくりの目標』について

- 農村の景観を生かし、住みよい環境をつくり健康なまちにする。

③『まちづくりの基本方針』について

- 農業を中心とした安心・安全な地域社会をつくる。

④『まちづくりの方針マップ』について

- なし。

「問2」については、広く今後のまちづくりについて検討する必要があると感じることについてお聞きしました。

- 盛岡工業高校が盛岡南高校へ移ることとなっているようですが、その後の盛岡工業高校の施設利用についての記述は必要ないのかな。
- 道路の拡幅等通勤・通学に支障が出ない安心な道路整備等をお願いしたい。